



評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	柏市子ども・若者総合支援センター	階数	地上3F
建設地	千葉県柏市	構造	RC造
用途地域	工業地域、法22条区域	平均居住人員	482 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	事務所,病院,	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2026年11月 予定	評価の実施日	2024年2月7日
敷地面積	19,398 m ²	作成者	株式会社佐野建築研究所
建築面積	3,767 m ²	確認日	2024年2月7日
延床面積	6,640 m ²	確認者	株式会社佐野建築研究所



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 3.0

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 100%
②建築物の取組み 68%
③上記+②以外の 68%
④上記+ 68%

(kg-CO₂/年・m²)

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

Q2 サービス性能: 5
Q1 室内環境: 3
Q3 室外環境(敷地内): 2
LR1 エネルギー: 3
LR2 資源・マテリアル: 1
LR3 敷地外環境: 3

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Q のスコア = 3.7

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.4

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.8

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 4.0

LR 環境負荷低減性

LR のスコア = 4.1

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 4.7

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.7

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.7

3 設計上の配慮事項		
総合 柏市の柏市地球温暖化対策条例・ゼロカーボンシティ宣言・柏市公共施設等低炭素化指針に基づき、建物の省エネルギー対策促進・再生可能エネルギーの利活用に努め、利用者と周辺環境に優しい施設を目指す。	その他 環境配慮施設としてZebReadyの認証を目指し、さらに公用車の電気化推進、太陽光発電の設置など推進する。	
Q1 室内環境 昼光率を確保し、カーテン・ロールスクリーンに加えて庇を採用することで、光・視環境に配慮している。F☆☆☆☆建材を全面的に採用し、全館禁煙とするなど空気質環境にも十分配慮している。	Q2 サービス性能 天井高を高くするなど心理性・快適性に配慮している。階高を高く設定し、壁長さ比率を小さくすることにより空間にゆとりをもたせている。内外装共防汚性に配慮した材料を使用するなど維持管理に配慮している。	Q3 室外環境(敷地内) 既存樹木の保全、敷地内の緑化に配慮し、地域で利用できる空間を設けて、地域性への配慮をしている。
LR1 エネルギー 自然エネルギーの利用・高効率の設備システムの採用を推進し、高効率のエネルギー利用可能な施設に配慮している。	LR2 資源・マテリアル 雨水をトイレ洗浄水に再利用するなど、資源の再利用に配慮している。OAフロアを採用するなど部材の再利用可能性向上への取り組みをしている。	LR3 敷地外環境 広告物照明を行わないなど周辺環境へ配慮している。適切な量の駐輪場・駐車場を確保し利便性に配慮、管理用車両の駐車施設を確保するなど交通負荷の抑制に配慮している。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2, LR1, LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

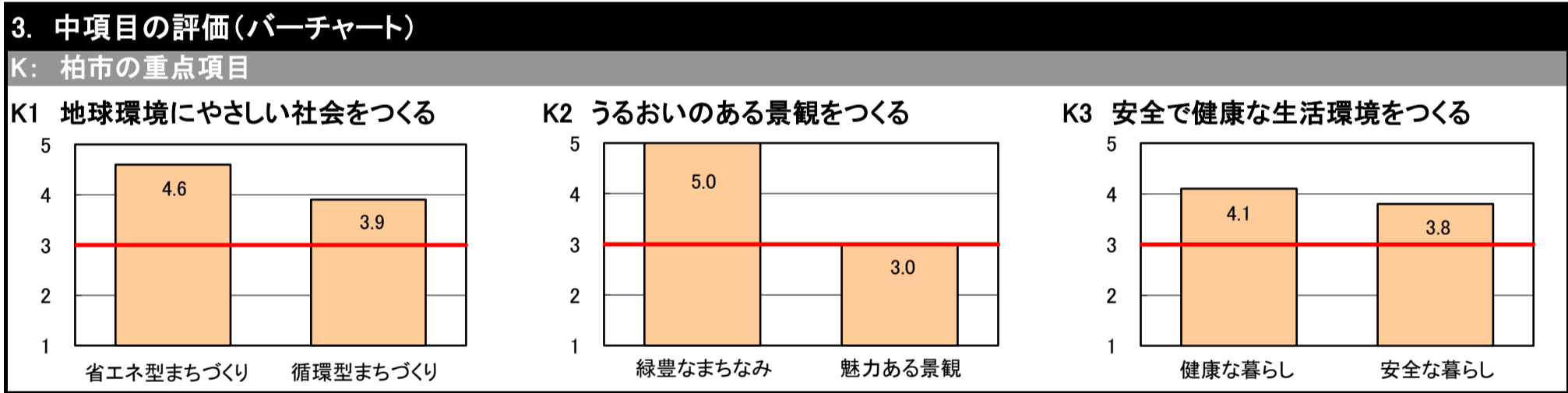


評価結果

■使用評価マニュアルCASBEE-建築(新築)2016年版 ■使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)

1 建物概要			
建物名称	柏市子ども・若者総合支援センター	建築物の環境効率 (BEEランク)	S ★★★★★

2 重点項目への取組み度		
重点項目	取組み度 ※ (得点/満点)	評価結果
K1 地球環境にやさしい社会をつくる	4.2 / 5.0	すばらしい
K2 うるおいのある景観をつくる	4.0 / 5.0	すばらしい
K3 安全で健康な生活環境をつくる	3.9 / 5.0	ふつう
※ 対応するCASBEEのスコアと主な指標を元に、独自に設定された条件で評価をします。(左記は評価結果の凡例)	すばらしい 4点以上 ふつう 3点以上	がんばろう 3点未満



4. 設計上の配慮事項	
<p>K1 地球環境にやさしい社会をつくる</p> <ul style="list-style-type: none"> 断熱性能を高めて省エネ型まちづくりに配慮する 廃棄物保管スペースの確保や分別回収容器の設置により循環型まちづくりに配慮する 	<p>スコアシート</p> <p>1. 省エネ型まちづくり</p> <ul style="list-style-type: none"> 1.1 建物の熱負荷抑制(LR1-1) スコア 5.0 1.2 自然エネルギーの利用(LR1-2) スコア 4.0 1.3 設備システムの高効率化(LR1-3) スコア 5.0 1.4 効率的な運用(LR1-4) スコア 4.0 <p>2. 循環型まちづくり</p> <ul style="list-style-type: none"> 2.1 雨水利用・雑排水再利用(LR2-1.1) スコア 3.7 2.2 雨水排水負荷抑制(LR3-2.3.1) スコア 4.0 2.3 非再生性資源の使用量削減(LR2-2) スコア 3.9 2.4 廃棄物処理負荷抑制(LR3-2.3.4) スコア 4.0
<p>K2 うるおいのある景観をつくる</p> <ul style="list-style-type: none"> 緑地を可能な限り豊富に設け敷地内のみどり豊かなまちなみに配慮する 緑地による良好な景観を形成することで魅力ある景観に配慮する 	<p>スコアシート</p> <p>1. 緑豊かなまちなみ</p> <ul style="list-style-type: none"> 1.1 生物資源の保全と創出(Q3-1) スコア 5.0 <p>2. 魅力ある景観</p> <ul style="list-style-type: none"> 2.1 まちなみ・景観への配慮(Q3-2) スコア 3.0 2.2 水空間の創出 設置の有無 - 2.3 道路沿いの緑化 緑視率の確保 -
<p>K3 安全で健康な生活環境をつくる</p> <ul style="list-style-type: none"> バリアフリー新法の円滑化基準を満足することにより、健康な暮らしに配慮する 	<p>スコアシート</p> <p>1. 健康な暮らし</p> <ul style="list-style-type: none"> 1.1 空気質環境(Q1-4) スコア 4.2 1.2 バリアフリー計画(Q2-1.1.3) スコア 4.0 <p>2. 安全な暮らし</p> <ul style="list-style-type: none"> 2.1 耐震・免震(Q2-2.1) スコア 3.8 2.2 防犯対策 防犯性の配慮 -